

釋言解

23

844

館籍表會育教本日大			
四	一	一	五
册	號	架	函

館書圖京東				
四	一	四	五	
册	号	架	函	類

二

Handwritten text in a cursive script, likely representing a name or title.

○チリチガと(鹿)ナリ

Handwritten text corresponding to the entry above.

Handwritten text in a cursive script.

○チリチガと(鹿)ナリ
○チリチガと(鹿)ナリ
○チリチガと(鹿)ナリ

Handwritten text corresponding to the entries above.

○チリチガと(鹿)ナリ

Handwritten text corresponding to the entry above.

○チリチガと(鹿)ナリ

Handwritten text corresponding to the entry above.

○チリチガと(鹿)ナリ

Handwritten text corresponding to the entry above.

○チリチガと(鹿)ナリ

Handwritten text corresponding to the entry above.

○チリチガと(鹿)ナリ

Handwritten text corresponding to the entry above.

○チリチガと(鹿)ナリ

Handwritten text corresponding to the entry above.

○チリチガと(鹿)ナリ

Handwritten text corresponding to the entry above.

○チリチガと(鹿)ナリ

Handwritten text corresponding to the entry above.

ぬらぶく
 ○類突クナリ類ヲ地ニ突キ梓スレヲ云

ぬれぎぬ

○ナキ名ヲ賣フヲ云又ヌレゴロモヨメ

ぬぐん

○暮キ名活未世ト云俗ニシニエンサイ

ぬき

○幣ヲヨム旅行スレ人ノ道祖神ニ手向ヒナリ又神宮ニ奉ル幣東ヲモ云ハリ

あひらりぬい^古 *あひらりぬい*

か^古 *か*

か^古 *か*

か^古 *か*

か^古 *か*

か^古 *か*

か^古 *か*

か^古 *か*

ぬき

○織物ノ類ノ糸ヲヨキ(兼ト云ハ織ノ糸ヲタナ(俗下ナ)

ぬすむ

○盗ヲヨムヒソカニ他人ノ物ヲ取ルナリ

冠辞

ぬすむ

○万葉ニ射干玉(アサギ)トカケリ射干ハ和名抄ニ一名烏扇トアリテ俗ニ云ヒアソギナリ此奥黒キ玉ノ如クニシテ野ニ生スルモノ哉野真玉(ヌスミ)ト云ナルハシ鳥玉黒玉ナド書シハ其奥ノ黒キ玉ニ似タレハ其ナリ此等ヲ用テタルハヒソカニシト加快島ノ者ニ

ぬすむ

ぬすむ

ぬすむ

ぬすむ

ぬすむ

ぬすむ

ぬすむ

ぬすむ

ぬすむ

ぬすむ

ぬすむ

達ノ部

○山鷄ノ尾ノ中ニ長キ
ヲガツト云フヲ
ハハ助語ナリ
山鳥ノハツ尾トハカ
リモイハリモロコシ
純國ニテ山鷄ヲ飼フ
テ湯カザリシニ鏡ヲ
カキ置タレバ湯カヤ
タリト云故事アリ

とつひ

○前々日ヲ云今モシカ
リ万葉ニ前日トカケ

○前々年ヲ云今モシカ
リ万葉ニ前年トカケ

山鷄ノ尾ノ中ニ長キ
ヲガツト云フヲ
ハハ助語ナリ
山鳥ノハツ尾トハカ
リモイハリモロコシ
純國ニテ山鷄ヲ飼フ
テ湯カザリシニ鏡ヲ
カキ置タレバ湯カヤ
タリト云故事アリ

○達キヲ云

○達近又彼此ヲ辨ム

○サマヤノノ説アレド
ウケガミガタシ宜長
云ヲチトハ初ノ方ハ
カハルナリト万葉ニ
タスリハムトモマタ
ヲチメヤモ又サケル
ナチシコ云キヤヲチ
ニサセトアタタ初ハ
ヤノノ説ナラナリト

時延ニテ時ナガクッ

山鷄ノ尾ノ中ニ長キ
ヲガツト云フヲ
ハハ助語ナリ
山鳥ノハツ尾トハカ
リモイハリモロコシ
純國ニテ山鷄ヲ飼フ
テ湯カザリシニ鏡ヲ
カキ置タレバ湯カヤ
タリト云故事アリ

ワケ

○衣ノ破レチガリタレ
ヲ云致。うつほ物語ニ
カヌビラノワ、ケタ
ルヲ着ナトアリ。此意
ナリト畧解ニ云ヘリ。

ワケ

○自分ノ生涯ニアリフ
ルホドヲ云

ワケ

○夫ライフガモトニテ
古クハ兄弟朋友ノウ
ハニモイヘリ。

ワケ

○ソカヤクナリ

ワケ
ぬのわらひ衣せらるゝてワケはわらひ衣せらるゝて肩より上下畧

夫
くわらひ衣せらるゝてワケはわらひ衣せらるゝて肩より上下畧

ワケ
かひせらるゝてワケはわらひ衣せらるゝて肩より上下畧

ワケ
かひせらるゝてワケはわらひ衣せらるゝて肩より上下畧

ワケ
かひせらるゝてワケはわらひ衣せらるゝて肩より上下畧

ワケ
かひせらるゝてワケはわらひ衣せらるゝて肩より上下畧

ワケ
かひせらるゝてワケはわらひ衣せらるゝて肩より上下畧

ワケ
かひせらるゝてワケはわらひ衣せらるゝて肩より上下畧

ワケ
○為滞ナリ

ワケ
○公私ノ私ヲタラシナリ

ワケ
○世ヲタラシナリ

ワケ
○産業ヲ云革ノ名ニア
ラズ

ワケ
かひせらるゝてワケはわらひ衣せらるゝて肩より上下畧

ワケ
かひせらるゝてワケはわらひ衣せらるゝて肩より上下畧

ワケ
かひせらるゝてワケはわらひ衣せらるゝて肩より上下畧

ワケ
かひせらるゝてワケはわらひ衣せらるゝて肩より上下畧

ワケ
かひせらるゝてワケはわらひ衣せらるゝて肩より上下畧

ワケ
かひせらるゝてワケはわらひ衣せらるゝて肩より上下畧

ワレヲ川
○三途川ナリ

ワレヲ
○前ノワリナシノ意ニ
粗同シワレヲモ未
ノ御製ハシヒナモノ
意ト聞キ

ワレヲ

○我故ナリ

○ワレカラト云ハ、燕ニ
ツキタルナヒサキ貝
ナリト云、又ワレカラ
被故ノ義ト云、説ニア
リ。

ワレ
湧ナリ

ワレヲ川
ワレヲ川
ワレヲ川

ワレヲ川
ワレヲ川
ワレヲ川

ワレヲ川
ワレヲ川
ワレヲ川

ワレヲ川
ワレヲ川
ワレヲ川

ワレヲ川
ワレヲ川
ワレヲ川

ワレ
○箕和名和久赤ツマク
具ナリ、始ノ歌ハ水ノ
涌クニ通ハセタリ。

ワレヲ

○タマサカ
○古今ノ歌ハ、遠鏡ニ
シムベント問テクレ
ル入モアツタラバト
譯セリ。

ワレヲ

○モトメチハナク
○此詞、野ノハシク

ワレヲ川
ワレヲ川
ワレヲ川

ワレヲ川
ワレヲ川
ワレヲ川

ワレヲ川
ワレヲ川
ワレヲ川

ワレヲ川
ワレヲ川
ワレヲ川

ワレヲ川
ワレヲ川
ワレヲ川

ワレヲ川
ワレヲ川
ワレヲ川

ワレヲ川
ワレヲ川
ワレヲ川

ワザイ

○ワザイ
○是モ文ニハアレド、歌ニハマレナリ。

ワザイ

○業トナリ、職分ニノ意。

ワザイ

○俗ニワセ田ト云、早稲田ナリ。

ワザイ

○トリワケナ

○我輩ヲ慕メマシナリ。

わざい わざい わざい わざい

わざい わざい わざい わざい

わざい わざい わざい わざい

わざい わざい わざい わざい

わざい わざい わざい わざい

わざい わざい わざい わざい

ガイノ、高岸ナリ

ワザイ

○佛経ニ云、靈鷲山ナリ、天竺摩竭陀國ニアリ。

ワザイ

○ワビメレ、ハ、難義レハテタレバ、ワビビ、ハ、ナシハテ、ナリ。

ワザイ

○ワビシサウニ
○ワビシサウニ
○ナンギラシク

わざい わざい わざい わざい

わざい わざい わざい わざい

わざい わざい わざい わざい

わざい わざい わざい わざい

わざい わざい わざい わざい

わざい わざい わざい わざい

ワセ
○早稲名和琴

万 *wasen*
夫 *wasen*

ワサレサ

○草名和名和琴私大在

ワスル、コニ此名ヲ
カリテ歌ニヨメルナ
リ故ニワスル、草ト
モイフ。

伊 *wasare*
徒 *wasare*
伊 *wasare*

ワラウ

冠辞の部

ワラウ
○若草ハメヅラシクイ

ツクシマレ、モノナレバ若キ葉ニカケタリ。

古 *warau*

ワラフ
ワラフノ山

古 *warafu*

○我恋ト散ル花ノカズトワクラフト云ヒカケタリ。

ワカキ

○ワタツミハ若海ナリヨリテ深キト云ヒカケタリ。

万 *wakaki*

ワカキ

○ワチハ棟ナリ妹ニ
アフトカケタリ妹ハ恋フ所ナリ。

万 *wachi*

ワカキ

○妹ガ裾トカケシノキ

万 *waki*

加の部

ワカキ

○彼ハ誰ノ意カレハ
ルト見ワカラヌモ
アイフナリ。

万 *waki*

○ 徳ハナリ。新ノカハニ
オナシ。川ト云フ言葉
ニ通ハセタリ。

うぢま

○ 尸ナリ。死セル人ノカ
ラフ云。姓氏ヲモホカ
バホト云ヘリ。

○ 瓦葺ノ屋ナリ

○ 苦付和名ガ波多計俗
ニイダヤト云。

カハニシ川ト云フ言葉ニ通ハセタリ。

ウヂマ

イシナリ。死セル人ノカラフ云。姓氏ヲモホカバホト云ヘリ。

イサヤ

○ 苦付和名ガ波多計俗ニイダヤト云。

イサヤ

○ 川ソト道河ソト柳ナ
ド云ヘリ。川ニ隋ナ治
フ義ナリ。

カキ

○ 蚊柱ナリ。蚊ノムラガ
リタツヲ云。

○ 頭昭ノ説ニ夏神祭ノ
時ニ川ノ上ニ架橋ケ
神ヲ祭ル朝

カキ

○ トニカクト云フニ同
シ

カキ

カキ

カキ

カキ

カキ

○宜長云和名梅ニ朱櫻
仁波佐入トアルハ

○ヤウニ又云ノ梅メ

○契沖云カホ花ハウツ
クシキ花ヲイヘリ花
ノ名ニアラズ

○ウツクシキ鳥ヲ云ト
リノ名ニアラズ

古語本
かほとりの梅はさくらに似たりと云ふ

梅はさくらに似たりと云ふ

梅はさくらに似たりと云ふ

梅はさくらに似たりと云ふ

梅はさくらに似たりと云ふ

梅はさくらに似たりと云ふ

梅はさくらに似たりと云ふ

○俗ニ云帰リガナナリ
帰ルサマナリトイヘ
ドハハ軽ク添ハタル
ナリ行クササナド
ノモ云ヘリ

○田ヲ耕スナリ耕ノ字
ヲヨメリ

○イナタモモ

○クレ

○南ヨリ北ハナド吹返

かほとりの梅はさくらに似たりと云ふ

梅はさくらに似たりと云ふ

梅はさくらに似たりと云ふ

梅はさくらに似たりと云ふ

梅はさくらに似たりと云ふ

梅はさくらに似たりと云ふ

梅はさくらに似たりと云ふ

ス凡ヲ云

かべ

○夢ノトイフ多クハ
壁ヲ兼テ録メリ。ヨル
マ露レ間ニ見レ故壁
トイフナラントノ考
アリ。當時ノ鑑書ナル
ベシ

かへり

○十二月十九日ヨリニ
日間佛名會行ハレシ
ニ此時榊梨ノ庄ト云
處ヨリ酒ヲ奉ル之ヲ

かへり

○却テナリ。帰リテヲ兼
ヌレトアリ。

かへり

かへり

かへり

かへり

かへり

かへり

かへり

○俗ニカドワカスト云
カスメ取ルト云ニ近
シ

かへり

○鎌和名カ上利ウスヤ
ヌヲ云

かへり

○楯ナリ。又穀粟カウガ
ウトモ名ク。俗ニ云カ
ウツナリ。

かへり

かへり

かへり

かへり

かへり

○ 疎ク遠ガカルナリ。万葉ニ雜ラガルトヨメリ。

山ト里ハあきらかに...
わつはらぬ年ハまはらぬ...

○ カキアケ筆茶ナリ。下アノ綴イナリ。又裏裏ニ赤ヲモヨメリ。

夫トつら...
使ヒま...

○ 和名抄ニ輝ニアカリト訓ス手足ノ并置

万ト...
世カハル...

○ 和名抄ニ嘯ヲヨメリ。鶯ノ声ハ我久ミミト

万ト...
聞エ...

○ 通ヲヨミ證歌ノ奉

万ト...
...

○ 衣ヲカクシフハ御寮ヲ云フガ衣ノミシテ

万ト...
...

○ 衣ノカクシフハ御寮ヲ云フガ衣ノミシテ

万ト...
...

○ 茶音 和名加太美サガ籠ナリ。神代紀ニ無目籠トナシカトトア

万ト...
...

○ タガヒ

万ト...
...

万ト...
...

○俗ニ形見トカク遺物ナリ。

○肩ノヤブレナリ

○此石ヲ稱フシキ布ノヤブレントシテ赤ノ一升ニヨルヲ云ハリ。

○ソツニ別々ナリ

○片持ナリ。シジミノホドニ同ジ。

Handwritten Latin script, likely a transcription of the first item.

Handwritten Latin script, likely a transcription of the second item.

Handwritten Latin script, likely a transcription of the third item.

Handwritten Latin script, likely a transcription of the fourth item.

Handwritten Latin script, likely a transcription of the fifth item.

Handwritten Latin script, likely a transcription of the sixth item.

Handwritten Latin script, likely a transcription of the seventh item.

○十木ノヒソギト云神殿ノ屋ノ裸ノ上ニ打チガヒニシタルソギトガラセタル木ヲ云

○他ノ事ヲ為シナガラ。若ヤ待ツノ意ナリ。

○武士ノ腰ニ帯ブルカナリ。斤又カタハノハハト声通ヘリ又掃莖カタナギノ器ヲ裁ナリト云。刺トハ果ト。刺トハ西又ナリ。

○部リナリ。ヲヒノ綴リナリ。ヲヒハリノ延ビタルナリ。

Handwritten Latin script, likely a transcription of the eighth item.

Handwritten Latin script, likely a transcription of the ninth item.

Handwritten Latin script, likely a transcription of the tenth item.

Handwritten Latin script, likely a transcription of the eleventh item.

Handwritten Latin script, likely a transcription of the twelfth item.

Handwritten Latin script, likely a transcription of the thirteenth item.

かいらぶ

○カタル語ヲ延タルニ
物語アリナドニ何か
シラカタラヒテア
ルハ其者ヲ類シテ書ス

いんぶち

○斤田舎ナリ。伊勢物語
ニ昔カタキナカニ住
ケリトナリ。年七ニナリ。カニノ目

いんぶち

○野兎ノキザリアリク
藤江サマヲ云

いんぶち

○小兒ノトノハ又
ヲカタ言ト云。今云フニ同シ

いんぶち

○乾飯カレイヒナリ。和

いんぶち

いんぶち

いんぶち

いんぶち

いんぶち

いんぶち

いんぶち

いんぶち

いんぶち

いんぶち

名抄ニ餉ヲヨム。今俗
ニ云バンニタウナリ。

ゆれど

○ウトミシカラズ
○アサタセズ

ゆれど

○和名抄ニ父ヲカヅ
タイロハト讀ム。又
ダイロトモ云ヘリ。

ゆれど

○カスカナル意ト聞ニ

かつ

○後ト是ト交テニ至ル
ヲアヲハスコトバ
故ニ連鏡ニ記スガカ

ゆれど

ゆれど

ゆれど

ゆれど

ゆれど

ゆれど

ワト歌ニタリ。

○ 歌ニヨリテチヨツトモ歌ヌヘシ。

かつぐ

○ ハツ

○ マ

○ スコシヤカリノ意

○ 水中ニ潜リ入テ水ナリ藻ナリカブルル。

かづぐ かつぐ かつぐ かつぐ

みづぐ かつぐ かつぐ かつぐ

かづぐ かつぐ かつぐ かつぐ

かづぐ かつぐ かつぐ かつぐ

かづぐ かつぐ かつぐ かつぐ

かづぐ かつぐ かつぐ かつぐ

○ 文学ノ試業ニ及華スルコトニ云晋ノ御詠が故筆。

うまて

○ カネビハ舞メナリ此歌一テハ其時ヨリサキヲ豫メ前リテテノ意ナリ。

○ マラカシメナリ俗ニ云イハレロ。

○ 藤アホヒタルコトヲ契約ノ云。

かづぐ かつぐ かつぐ かつぐ

かづぐ かつぐ かつぐ かつぐ

かづぐ かつぐ かつぐ かつぐ

かづぐ かつぐ かつぐ かつぐ

かづぐ かつぐ かつぐ かつぐ

カネノクギ野ノモテ
堅ムル故カナ戸ト云
門ヲカドト云ハルモ
カナドノ畧言ナリト
千歳云ヘリ

○ 野ノモテノカネモテ

○ 龍文ニ三足兩平五味

○ 蓮ノ字ヲ削ス俗ニオ
ナシ

○ 悠歌ノ意ノカナシハ
別ニカハレコナケレ
ハ省ク此歌ニ云フカ

万
かたがは〜人〜

〜川〜

〜

〜

〜

〜

〜

〜

〜

ナシハ愛レ心ナリ

から

○ ヨリ直ナリ今云カラ
ニ同ジ

から

○ 云々スロヤイナヤ
○ 云々スロト共イレ

から

○ ニエニヤ
○ ニ固リテカ

から

○ 辛苦ナリ俗ニ難義ト

〜

〜

〜

〜

〜

〜

〜

〜

〜

〜

〜

〜

〜

〜

〜

去フ。

○彼ノナリ。俗ニカシ、
ニ同シ。

○鹿ノモ、
カ

○カクレ、
ナリ。ロノ、
万業ニカシ、
ラ。古言ハ、
ハバロ、

カクレ、
ナリ。ロノ、
万業ニカシ、
ラ。古言ハ、
ハバロ、

カクレ、
ナリ。ロノ、
万業ニカシ、
ラ。古言ハ、
ハバロ、

カクレ、
ナリ。ロノ、
万業ニカシ、
ラ。古言ハ、
ハバロ、

カクレ、
ナリ。ロノ、
万業ニカシ、
ラ。古言ハ、
ハバロ、

カクレ、
ナリ。ロノ、
万業ニカシ、
ラ。古言ハ、
ハバロ、

タルナリ。中世ブリノ歌ニロトヨムハワロン。

○隠ル、
ナリ。ロフ、

○かくれ、
かくれ、

○世俗、
ハタリ、
キレバ、

○かく、
かく、

○コノ、
又カ、
テ云、

○カウ、
○コノ、

伊物、
カクレ、
ナリ。ロフ、

かくれ、
かくれ、
ナリ。ロフ、

世俗、
ハタリ、
キレバ、

かく、
かく、
ナリ。ロフ、

カウ、
コノ、
ナリ。ロフ、

かぐさ
○藤又ハ芳ノ義ヲ葉集
ニ香細ト書ケリ。今俗
ニカウバシト云ヘリ。
クハシハ俵レコトバナリ。花クハシ櫻ノメナドナドナアリ。

うぐれぬ
○隠沼ニ草木ノ茂リオ
ホヒテアラハニ見エヌ沼ヲ云ヘリ。

かけて
○心ニカケテナリ。物ヲ
掛テ橋ヲ架テナドニ
通ハス。

古
か
か
か

かけて
○是ヨリ彼ヘカケテ
サカサカ

サカサカ
サカサカ
サカサカ
サカサカ

かけ
○ロノ端ニカケテイマ
ト云フ畧言ナリ

サカサカ
サカサカ
サカサカ
サカサカ

かけ
○鶏ヲ云カケトハ鳴声
ヨリシテ名ケシト云
ヘリ家鶏ノ音ト云フ
ハ非ナリ。又伊勢物語
ニラダカケトモ云ヘリ。百瀬野ノ果ナリト云フ説アリ。

サカサカ
サカサカ
サカサカ
サカサカ

かけ
○翔レナリ鳥ノ飛ビ
ト云。

サカサカ
サカサカ
サカサカ
サカサカ

○ 音讀ノキトキトノ意

かきむ *ka-ki-mu*

○ 國ノナリ。俗ニオナジ

かきむ *ka-ki-mu*

○ 厭ハカホナ

かきむ *ka-ki-mu*

○ ヌラハ得ズニ

かきむ *ka-ki-mu*

○ 難ヲヨム云々為レ難

かきむ *ka-ki-mu*

○ ナナリ。故ニ此歌ニ

かきむ *ka-ki-mu*

訳スベシ

○ 兼ナガラナリ。古言ニ

かきむ *ka-ki-mu*

○ ハガテト云

かきむ *ka-ki-mu*

○ カキナラスニ同シ。聲

かきむ *ka-ki-mu*

○ ヲヨム。即接キ鳴スナ

かきむ *ka-ki-mu*

○ カキフツムレナリ書

かきむ *ka-ki-mu*

○ 兼アル。又接果ムレニ

かきむ *ka-ki-mu*

○ サビノ進ムルニナリ

かきむ *ka-ki-mu*

千スサビノスサビニ
同シ中世以後ハモノ
フリタル意トセリ。

○ヤカマシイ
○ガヤイト
○番堂ナツノ字ヲヨム

○カシラの雪
白髪ニナリタルヲ云
頭ノ霜トモヨメリ。

○炊ヲヨム米ヲムニテ
飯ニスルナリ。

神さびて
まろ神のまろれおひりや社神さびゆらんかげよろくかえ

か
か
か

か
か
か

か
か

○カドカ
○聖殿ナリ俗ニカシジ
キト云。

○カ
○我柯和名カ之。所以カ
舟トアリ。舟ツナギノ
クヒナリ。今カシラツ
ソトイフハ古言ノ残
リタルナリ。

○カヒコ
○卵ヲヨメリ。又糞ヲモ
シカ名ツク。兼見カヒ
コノ義ナルバシト士
清ハ云ヘリ。

○カビ
○蚊遣火ヲ云。又猪鹿ヲ
追フバキ。假令ニタク
火ヲモ云フメリ。

夫
か

か
か

か
か

か
か

かざり
 教々ヲヨム多クハ歌
 ニヨリテハシンセツ
 何カ一ツケテナド歌
 シテ其意ヲ得ベシ

かざらぐ
 行ク水ニカズカシト
 ハセシナキタトハイ
 クラカキテモアトモ
 トツメヌス

かざらぶ
 カミナミ川
 神南備川ハ大和平郡
 郡ニアリ蛙ノ名所ナ
 レバカク冠ラセタリ

かざらぶの
 ミカレ

かざり
 かざり
 かざり
 かざり
 かざり

かざらぐ
 かざらぐ
 かざらぐ
 かざらぐ
 かざらぐ

冠辞の部

かざらぶ
 かざらぶ
 かざらぶ
 かざらぶ
 かざらぶ

○ 冠蓋ハ丸ル、故云フノマ

から衣

キナラノ里 タツ
 ヒモ
 キナラハ杖着脚スト
 云フ意ニ通フ又「タツ
 」「ハ」裁ツ日ヲ立ツ日
 ニ「ヒ」モハ「紐」ヲ日天ニ
 通ハセ云カケタリ

○ 錦ヲ裁ツト云ヒカケタリ

かんじせの
 神凡ノ器ト云ハキツト
 イセ
 ノ一語ニ云カケタリ

かばらみの
 ソレガアラヌカ
 カキ潤
 万葉ニハ「カギロ」ト

から衣
 から衣
 から衣
 から衣
 から衣

かんじせの
 かんじせの
 かんじせの
 かんじせの
 かんじせの

かばらみの
 かばらみの
 かばらみの
 かばらみの
 かばらみの

ノ波ヲヨム

たしなむのちかたけいんげんふりてかたけいんげんふりてかたけいんげん

よしの
夜殿ナリ。寢殿ヲモへ

ひけむのちかたけいんげんふりてかたけいんげんふりてかたけいんげん
おほや

よしの
夜床ナリ。寢所ヲ云へ

ひけむのちかたけいんげんふりてかたけいんげんふりてかたけいんげん

よしの
トキニイリヨリニイリ
リ古今ノ序ニ片糸ノヨリ

ひけむのちかたけいんげんふりてかたけいんげんふりてかたけいんげん
おほや

よしの
ヨモスガニオナシ依リ

類ノ所ヲ云

ひけむのちかたけいんげんふりてかたけいんげんふりてかたけいんげん

よしの
ヨモスガラニ同ジ

ひけむのちかたけいんげんふりてかたけいんげんふりてかたけいんげん

よしの
流レ岸ル瀬ナリ。ヨム
マトオトニ同ジ

ひけむのちかたけいんげんふりてかたけいんげんふりてかたけいんげん

よしの
兼ナルモノニシラレ
ダレバ其カヒナジト

云フヤトハ更配項
本記ニ富貴不勝故祭
祀衣純夜指下此朝ヨリニヤ

ひけむのちかたけいんげんふりてかたけいんげんふりてかたけいんげん

よしの
夜ノウチカラノ意

ひけむのちかたけいんげんふりてかたけいんげんふりてかたけいんげん

よげのこす

明けた後モ、宿夜ノナシキ残ルナリ。

よげ

朝シ、俗ニオナジ。

よげれ

夜離ナリ、離ハカル、ナリ、遠離ル、ナリ、疎

遠ニアルナリ、人日ハ
トノ意ニオナジ。

よげ

男女ハナレバ、バニ世

白川ハカの志シ...

夫ハ...

...

...

...

...

...

フ程ルヲ云、我ノ部ノ
おのがよ、ト合セ見
ルベシ。

夜直

夜直ナリ、直ハ宿直ノ
直ノ如ク、夜ヲ通シテ
ノ意、夜ヒトヨ、夜通シ
ト云フコトナリ。

よげ

又ヨソフトモ、俗ニ
云フシタクズルナリ。

よげ

タクラマニ
タトハレ

...

...

...

...

...

...

...

ミノ國ヨモツ手坂ナド見ニ又ヨミテトオノハ開路ノ業ナリトゾ

トシガノ

○蘇ヲ訓スヨミガガノ
ル即チ生カノルナリ

トシ

○ヨシヤ

○ヤノヨ

トシヤ

○ヤノモナイノヤ

トシヤ
○ナダテガナイ

トシガノ

トシヤ

トシヤ

トシヤ

トシヤ

トシヤ

トシヤ

トシヤ
○ナダテノアトナウニ
シタイノヤ

トシヤ
○ヨモヤ

トシヤ
○西海トカキナヨモノ
ウミトヨムベシ夫木
新大船ナドニヨツ
ウミトヨメルハ誤

トシヤ
○蓬萊島ヲ云唐土ニテ

トシヤ

トシヤ

トシヤ

トシヤ

ハニシヲ渤海ノ東ニア
 三神山ノ一ナリト
 説ケリ。我國ニテハ或ハ授書ノ性吉ナリト云。或ハトヨヨリ。國ナリト云。或ハ富士山ヲ指シテ云フナド。諸説マ
 チイニシテ一定シガタシ。
 よもぎヶ社
 蓬ノ生茂リテ花ノ如
 ヲナルヲ云。松ハ山ノ
 林也。

よんすげ

○終夜ナリ。ヨモスガ
 ノハ。昼ニ對シテ夜ニト云ヨシナレド。終夜ヲヨモスガトヨメルト常ナリ。又夜ハスガラサヨスガラトモ
 メリ。
 前ニ同シ。

明野ノ慈メヨリ

終夜ナリ。ヨモスガ
 ノハ。昼ニ對シテ夜ニト云ヨシナレド。終夜ヲヨモスガトヨメルト常ナリ。又夜ハスガラサヨスガラトモ
 メリ。
 前ニ同シ。

スレ野ナリ

多の部
 秋くれがけのうらみ
 人目ふらけのうらみ
 全編
 秋くれがけのうらみ
 人目ふらけのうらみ
 全編

たはる

○戯レ在フナリ
 秋くれがけのうらみ
 人目ふらけのうらみ
 全編

たどれめ
 ○遊女ヲ云、又ツカレバ、
 トモヨボ

たふ

○サハ

○デモ

○ナリトモ

^{たふ}あひつらうもやなとなりぬけつらふりなむくばいし
^{たふ}はつるもあかきつらふりなむくばいし
^{たふ}あつらふりなむくばいし
^{たふ}あつらふりなむくばいし
^{たふ}あつらふりなむくばいし
^{たふ}あつらふりなむくばいし
^{たふ}あつらふりなむくばいし
^{たふ}あつらふりなむくばいし

たへ

○コラハ

^{たへ}あつらふりなむくばいし
^{たへ}あつらふりなむくばいし
^{たへ}あつらふりなむくばいし
^{たへ}あつらふりなむくばいし
^{たへ}あつらふりなむくばいし
^{たへ}あつらふりなむくばいし
^{たへ}あつらふりなむくばいし
^{たへ}あつらふりなむくばいし

たへぬ

○コラハラレヌ

たどろ
 ○脚跡ナリ、暗夜ニ燈火
 ナクシテ行キナヤム
 如キ意。

たどり
 ○タドリキミナリ、足付
 ノ分ラズシテ、探ノナ
 ガラ進ムノ意。

たちど
 ○立所ナリ

^{たどろ}あつらふりなむくばいし
^{たどろ}あつらふりなむくばいし
^{たどろ}あつらふりなむくばいし
^{たどろ}あつらふりなむくばいし
^{たどろ}あつらふりなむくばいし
^{たどろ}あつらふりなむくばいし
^{たどろ}あつらふりなむくばいし
^{たどろ}あつらふりなむくばいし
^{たどろ}あつらふりなむくばいし
^{たどろ}あつらふりなむくばいし
^{たどろ}あつらふりなむくばいし
^{たどろ}あつらふりなむくばいし

たちまち
俗ニ同シ

たちえ
立枝ナリ

たほひ
軒ナドニ懸ル木ナリ
又ツラトモ云入リ
末摘ノツラハハツラ
は草造ニカケテヨメリシム

たぢやめ
手弱女ナリワカキ女
フ云古キ詞ニハタワ
ヤメト云ヘリ

たむ
挽ヲ訓ムタワムニ

たぢやめ
たぢやめ

たちえ
たちえ

たほひ
たほひ

たぢやめ
たぢやめ

たむ
たむ

たむ
たむ

たむ
タワニ同シタワムナ
リトヲハトモ云ヘリ

たぢやめ
耕ヲ訓ム田反スナリ
タガヤスト云フハナマ
リコトナキ

たより
便ヲ訓ム俗ニツイデ
ト云ヒ又タヨリトモ
云ヘリ

た

ソノマハ
カマハズニ

たむ
たむ

たぢやめ
たぢやめ

たより
たより

た
た

た
た

○イタヅラニ。俗ニ云ム
グニナリ。

○遊遊ナリ。和名抄ニ徑
路ヲ割テ又直ノ字バ
カリモヨム。

○業ヲ訓ム。俗ニモ神ノ
カ、リナド云ヘリ。

○兼ヲ訓ム。雲波船ナド。
下チテハ行トモナク
浮ブア云。又入ノ身ノ
上ニモ。世ニタシヨフナド云ヘリ。

イタヅラニ。俗ニ云ム
グニナリ。

遊遊ナリ。和名抄ニ徑
路ヲ割テ又直ノ字バ
カリモヨム。

業ヲ訓ム。俗ニモ神ノ
カ、リナド云ヘリ。

兼ヲ訓ム。雲波船ナド。
下チテハ行トモナク
浮ブア云。又入ノ身ノ
上ニモ。世ニタシヨフナド云ヘリ。

○ヒト通りデハナイ。タ
ツデハナイ。事変リテ
キルノ意。

○誰トサシ定メズ

○立チ退クニ。立ツヲ義
ニカテテヨメリ。

○手着ノ義使ノ。義ナリ
ト云。タツキモシラヌ
ハ。業内モ知ラヌナリ。

ヒト通りデハナイ。タ
ツデハナイ。事変リテ
キルノ意。

誰トサシ定メズ

立チ退クニ。立ツヲ義
ニカテテヨメリ。

手着ノ義使ノ。義ナリ
ト云。タツキモシラヌ
ハ。業内モ知ラヌナリ。

たつき
○和名抄ニ鑄ヲ却ム
夫ノ用キル廣又ノ弁
ノ

たねらす
○種ヲマク時ニ水ニ
タシ置クノナリ

たふせい
○板ニテ棚ノ様ニ反リ
ニ渡シタル橋ヲ云

たふば
○鶉ヲ遣フ手繩之

夫
〜 枕木の根のたつき〜
〜 枕木の根のたつき〜

日
〜 水に種をまく時〜
〜 水に種をまく時〜

舌
〜 板にたてた棚の形〜
〜 板にたてた棚の形〜

夫
〜 鶉を飛ばす手繩〜
〜 鶉を飛ばす手繩〜

たむろ
○採ヲ却ム直キ物ヲ曲
グ又ハ曲レル物ヲ伸
スヲ云但シ此歌ニテ
ハ採ムルヲ溜ムルニカ
ケテ云ハリ

たむろ
○溜ムルナリ物ヲ委ク
集ムルヲ云

たむけの神
○道祖神ヲ云故立ノ時
ニ祭ルナリ

たむけの神
○手向種ナリ種ハ品ノ
意草ハ假字ナリ

ほ
〜 採るは直る物も曲る〜
〜 採るは直る物も曲る〜

た
〜 溜まるは物を集める〜
〜 溜まるは物を集める〜

た
〜 道祖神の祭りに〜
〜 道祖神の祭りに〜

た
〜 手向の種は品で〜
〜 手向の種は品で〜

たのむれがかり
又タノモノカリトモ
カク田面ノ属ナリ

たのめ
タノミニサセル人ヨ
リ我ヲ解ニ思ハシム
ルナリ

たぐ
抄無ルナリ万葉ニ據
總ト書ルヲ見レバ有
モテヨレル繩カト或
人去ヘレドイカッアラン

たく
蘭ヲ訓ム日タク春タ
クナド云月日ノ影又
ハ時ナドノ十分ニ移

リスグルヲ去ヘリ

たぐふ

○ソハレ(訓)

○ソハセテヤル

○又類比等ヲモヨム歌

ニヨリテ誤ニ方々が
ヘリ

大やす

○容易ナリタハヤスシ

トハノ字ヲソヘテモ
去ヘリ

大やす
○各ニ同シ

伊勢
たのむれがかり
たのむれがかり
たのむれがかり
たのむれがかり

海
たのめ
たのめ
たのめ
たのめ

抄
たぐ
たぐ
たぐ
たぐ

抄
たく
たく
たく
たく

古
たぐふ
たぐふ
たぐふ
たぐふ

同
ソハレ
ソハレ
ソハレ
ソハレ

後
大やす
大やす
大やす
大やす

万
容易
容易
容易
容易

トハノ字
トハノ字
トハノ字
トハノ字

大やす
大やす
大やす
大やす

各ニ同シ
各ニ同シ
各ニ同シ
各ニ同シ

○大神宮式ニ賢木ノ枝ニ木締ツテタトルヲ太玉串ト云トアリ今祭ノ庭ニ白紙ヲ結合ケ用キテ此界ナリ。

たまかーは石ヲ云カシハハカタニバノ界ナラン

たまさる瑞ルナリ物ノ多ク集マルヲ云

たまむすび人魂ノ飛ヲ見テ衣ノ下着ノツマヲ結ビマシナハバ其魂止リテ

伊勢
ねがへちかへ玉ぐり...
伊勢
ねがへちかへ玉ぐり...
伊勢
ねがへちかへ玉ぐり...

伊勢
ねがへちかへ玉ぐり...
伊勢
ねがへちかへ玉ぐり...
伊勢
ねがへちかへ玉ぐり...

伊勢
ねがへちかへ玉ぐり...
伊勢
ねがへちかへ玉ぐり...
伊勢
ねがへちかへ玉ぐり...

伊勢
ねがへちかへ玉ぐり...
伊勢
ねがへちかへ玉ぐり...
伊勢
ねがへちかへ玉ぐり...

モトノ主ニカハリ死セズト云古キコトワザアリシナラン

たけ人ノ鬘ヲ云物語ノフミニタケ高クナド見ニ俗ニ丈ノ字ヲカケリ

たけのきのの親王ヲ申スナリ兼ノ孝王ノ竹園ノ故事ニ

たぶせ田廬ナリ田ノ中ニアル番小屋ノ如キヲ云

たぶせ手拳ナリ俗ニ云テジ

伊勢
ねがへちかへ玉ぐり...
伊勢
ねがへちかへ玉ぐり...
伊勢
ねがへちかへ玉ぐり...

伊勢
ねがへちかへ玉ぐり...
伊勢
ねがへちかへ玉ぐり...
伊勢
ねがへちかへ玉ぐり...

伊勢
ねがへちかへ玉ぐり...
伊勢
ねがへちかへ玉ぐり...
伊勢
ねがへちかへ玉ぐり...

伊勢
ねがへちかへ玉ぐり...
伊勢
ねがへちかへ玉ぐり...
伊勢
ねがへちかへ玉ぐり...

伊勢
ねがへちかへ玉ぐり...
伊勢
ねがへちかへ玉ぐり...
伊勢
ねがへちかへ玉ぐり...

たご
○ 廣葉ヲスル 陽夫ヲ云

たえて
○ 絶テニ俗ニカイニキ
マレデナド云ハリ

たて
○ 捕也 獸ノ又物夫ヨヲ
防ダ板ノ類

たぎら
○ 濠洲ナリ ワキカノレ
ノ意 濠ト云モタギリ
落レヨリノ名

新季
Manu o o e m a u M i l i e r u g a m u e m e n O u e r e m u k u

夫
o i n i s s u e m e m t a v i o e a t a u e o u e m e n e i s u a k a n u

古
o t t o e t a i n i n n e n e n a n a u e m e m e m e n e i s t e m e e

日
o k a t e m e n g e m e m t a m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e

万
o m o m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e

川
o s e t t e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e

雅夫
o m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e

たぎつ

○ 前ノ意ト同シ 陽夫ヲ
ヤカヘルナリ

たぐく
○ 今俗ニカレトシト云フ
一ニ文章ニテハカツ
タウシクニキトイカ
ズナドノ意ニ開ナレ
キナリ

たぐむ
○ 息ルナリ 拍断スルナ
リ 俗ニカレト云ハリ 塞レ強クノ義ナリト云フ

たぐひ
○ 一ニタノイスト云フ
ハヨリニ近シ万葉ニ
類聚不足ト云メリ

古
o m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e

母
o m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e

古
o m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e

今
o m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e

母
o m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e

万
o m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e

雅夫
o m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e m e

大さくら
○タムル 標トキトバ
ノ延ビタルノコノ

標トキトバノ延ビタルノコノ

ためし
○例ノ制ハ格ニテカ
トカノ制ニマナレリ

ためしノ制ニマナレリ

たけ
○花解ノ結トラス

花解ノ結トラス

たけ
○和制菜ニ立選ノ後ナ
レイシリンノ友ロ+

和制菜ニ立選ノ後ナレイシリンノ友ロ+

リト云ハリスアモアレ
バノ覚ニ

たし
○俗ニ同シ

たしノ俗ニ同シ

たひら
○平ノ脚々

たひらノ平ノ脚々

たけつせ
○瀬川ノ水ノハヤキヲ
ルノハヤリタルニ云
ヨセメシ

たけつせノ瀬川ノ水ノハヤキヲルノハヤリタルニ云ヨセメシ

たらしめ
○赤子ヲ育ヒ日月ヲ足
ラシメヒトノナスハ
母ノワザニ因テ日足

たらしめノ赤子ヲ育ヒ日月ヲ足ラシメヒトノナスハ母ノワザニ因テ日足

冠辭の部

冠辭の部
たらしめノ赤子ヲ育ヒ日月ヲ足ラシメヒトノナスハ母ノワザニ因テ日足

ラシ根ノ母ト云此日ノ字ヲハフキシト申ト雖ハモ限ト云フカメコトツラ添ノチタラチネト云ハレ也。

たましげ

ニ フタ アケ オ

ホフ 玉橋背ナリクワクシ

キクシバヨク云ヘリカノリノ意明ラケシ

ミチ たまほこの

○ 録ノ身ヨリ道ノ道ノ

声ニカノリタルナリ

たき木こは

カマクラ山

○ 薪ヲ伐ル録トソマケシノミ

そばだつる

○ 歌又側ヲヨム高ク傾

万 たましげ

子 たまほこの

玉橋 背ナリクワクシ

カノリ ノ意明ラケシ

録 ノ身ヨリ道ノ道ノ

カマクラ 山

薪 ヲ伐ル録トソマケシノミ

曾の部

夫 そばだつる

ムクノ意山ニソバタ
ツト云ハ崎マヨム高
ク立ツノ意

そば

○ カドニシト云フガ
如シ枝翁ノ多キコナリ

そば

○ 葉山子ノナリ説
ニ山田ノ露ニヌレソ
ホツヲ以テ名トスト
云ヘリ

そば

○ 谷ニ云ビツシヨリヌ
レノ

同 そば

通宴 そば

カド ニシト云フガ

葉山 子ノナリ説

山田 ノ露ニヌレソ

ホツ ヲ以テ名トスト

谷 ニ云ビツシヨリヌ

レ ノ

物名 そば

字 そば

音 そば

○シメバト降こし

シメバト降こし

○サウナラサウヨ

サウナラサウヨ

○反ヲ訓ム号カナドノソリノ如キヲ云

反ヲ訓ム号カナドノソリノ如キヲ云

○楯ヲ訓ム北国ニテ雪中ニ乗リ走ラスル具ナリ底ノ形ソリタル故ニシカキナラン

楯ヲ訓ム北国ニテ雪中ニ乗リ走ラスル具ナリ底ノ形ソリタル故ニシカキナラン

○万葉ニ背向トカケリ

万葉ニ背向トカケリ

ワシロノ方ヲ云

ワシロノ方ヲ云

○ソレヨナリ思ヒ出デ、イヒ出スコトバ又、驚クコトバニモナルナリ、多クハ稲葉笹ナドノソリトナル昔ニ云ヒカケタリ

ソレヨナリ思ヒ出デ、イヒ出スコトバ又、驚クコトバニモナルナリ、多クハ稲葉笹ナドノソリトナル昔ニ云ヒカケタリ

○ソレヨナリ、意新ニ同シ、此例ノ歌ニテハ葉ノ昔ヲカネテヨメリ

ソレヨナリ、意新ニ同シ、此例ノ歌ニテハ葉ノ昔ヲカネテヨメリ

○葉ノソリト動クナリ、我ノ字ヲ訓ム

葉ノソリト動クナリ、我ノ字ヲ訓ム

そよめく
ソヨジノ意ニ同シ。メ
クハ形容ニシテサエ
メクホノメクナドノ
メクニ同シ。

それうけぬち
ソレデアラウカソレ
デハアルマイカ。

ソ
ソレノルヲ畧シタリ。
ソラヂユハソレヲ
ニソナラシムハソレ
ナレラシナリ。

ソ
ソノソノ水脚ソノダ

ソノソノ水脚ソノダ
ソノソノ水脚ソノダ
ソノソノ水脚ソノダ

ソノソノ水脚ソノダ
ソノソノ水脚ソノダ
ソノソノ水脚ソノダ

ソノソノ水脚ソノダ
ソノソノ水脚ソノダ
ソノソノ水脚ソノダ

ソノソノ水脚ソノダ
ソノソノ水脚ソノダ
ソノソノ水脚ソノダ

雨ナド、軽ク乱レカ、
リ強カラヌ。

ソバヤ
ソレヨト云ホドノ詞
ナリ。萩甚ナドノ声ヲ
ソハテ云。

ソバ
ソバトモ云。坐又ハ
無端ヲ訓ム。俗ニ云。何
トナシノ意。

ソバ
ソバだのめ

ソバ
虚音ナリ。イウハリナ
クア云。ソラナキト云

ソバ
ソバだのめ
ソバだのめ

ソバ
ソバだのめ
ソバだのめ

ソバ
ソバだのめ
ソバだのめ

ソバ
ソバだのめ
ソバだのめ

ソバ
ソバだのめ
ソバだのめ

フモ同シ

そらおがれ

○ソラハ虚ナリ。オホレハ岩巻師ホケルニ俗ニソラトボケルト云語アリ。是ナリ。

そらめ

○ソレトタシカニ見留メヌナリ。今語ニ見ルト云下。

そらもふし

○ソラハサマニ近シ音ニア様トモ云俗ニモ常ニ云フナリ。

そらおがれ

そらめ

そらもふし

そらもふし

そらもふし

そらもふし

そらもふし

そのまゝ

そのまゝ

○其神ニコノニッ

○當時ナリ。後ヨリシテ

○其所ナリ

そのまゝ

そのまゝ

そのまゝ

そのまゝ

そのまゝ

そのまゝ

